

TikTok 運用の心得

「動画作成前に必ず見る」

動画作りで意識すること (初心忘れず)

●インパクトが大事

- ✓最初の2秒が特にこれ。とにかくインパクト!
- ✓顔のドアップはかなりインパクトあるのでおすすめ。
- ✓インパクトのあるタイトルテロップもあり。

「女子に振り向かせる方法」より「女子に一瞬で振り向かせる方法」

「テストで高得点取る方法」より「たった5つの注意だけでテストで高得点取る方法」

また、逆の煽りもあり。

「やってはいけないペンの持ち方」より「絶対にやってはいけないペンの持ち方」

「これやってる人は要注意」より「これやってる人は人生終わります」

↑この辺の書き方はコンテンツ販売と似ている部分がある。

- ・「～だけで」
- ・「一発で、一瞬で」
- ・「今日から使える」
- ・「本当は教えたくない」
- ・「絶対に」

本当は教えたくない

最強ホラー映画5選

●1分以上を目指す

TikTok は長くユーザーに滞在してほしいので、1分未満の動画より1分以上の動画が伸びやすい傾向にある。

似た内容の動画であれば、30秒×2動画投稿より2本くっつけて1分動画を投稿した方が伸びるかもしれない。

●滞在させる工夫

✓ 賛否両論のある動画

→独断と偏見、自己的なランキングなど

✓ 最後にオチが待っている動画

→オチの瞬間を冒頭で見せるのが理想。この場合インパクトのあるオチでないと意味がない。「え？やば」と思わせたら勝ち。

オチがないなら JK ブランドなどの微エロだと「最後ヤバいwww」とか、ランキングなら「1位はマジで予想付かないと思う」など最後まで観させるテロップ入れ

(実際にオチが無くていい)

✓ コメント誘発

・リクエスト募集型

→例：AI に答えさせた動画テーマリクエスト募集中

・どっちか選ぶ系

→橋本環奈と結婚 VS 永野芽衣と結婚

・賛否両論系

→時事ネタ画像を出して「私はこれに反対です」

✓ トレンド音源の使用

✓ 横向き動画より縦向き動画の方が見られやすい傾向にある。

●フォロワーとのやり取り

コメントに対していいねはした方がいい。できれば返信もしてあげると評価が上がりやすい。

●タイトルの付け方

長くしない。バズってる動画をよく研究する。

漢字ばかりでなくカタカナやひらがなも使う。

「精神安定する習慣5選」より「メンタル安定する習慣5選」の方が見やすいなど。

●ネガティブ訴求

「モテる人の特徴」より「モテない人の特徴」の方が伸びたりする。

これは「自分が当てはまってたらヤバい」というネガティブ心理が働くから。

つまり「モテる人の特徴」は別に観なくても平気だが「モテない人の特徴」は観ないとヤバいと思って観る→ネガティブ訴求

「貯金できない人の特徴」「クビになる人の特徴」「フラれやすい人の特徴」など。

簡単な話をする「お金持ちになる人の特徴」がバズってたら「お金持ちになれない人の特徴」は必然的にバズりやすい。

投稿頻度

「試行を繰り返す」という意味でも高い頻度で投稿が望ましく、特に最低でも2日に1回が理想的であると公式が発表→[TikTok公式](#)

ここで「毎日より2日に1回の方が良いのか？」という疑問が出てくる。公式の文面から読み取ると「高い頻度として2日1回」というニュアンスなので、投稿頻度はそれより多くても問題はないと推測（アルゴリズムがどうなっているかは分からない）

TikTokは変化している

SNS 全般に言えることだが、毎月のようにアルゴリズム変化でバズりやすさや動画の取り扱いの厳しさなどが変わっている。

同じ手法でやり続けたいなら長い目で見ること。つまりファンを付けて同ジャンルの動画を上げるだけでも再生が取れる状況にするのが理想的。

毎回のようアカウントを新しく作り直して動画を上げる（つまり捨て垢）場合は、ある程度手法を新しくするように心掛けないと通用しなくなってくる。

SNSが面倒なのはそこ（だからブログが好き）

TikTokでは動画の視聴維持率とフル視聴率が重要となるが、最初の2秒後の離脱率も関係されると言われてきている。

つまり視聴時間が短い（動画が飛ばされる）ほどおすすめ欄に載らず、もしかしたらアカウント自体の評価も下がっている可能性がある。（最近感じた）

アカウントの評価が下がると次に上げる動画も再生が取れにくい場合がある。

これは「いくつも動画を上げてるけどシャドウバンが続く」といった原因の1つかも。

なので、多ジャンルで攻めこむのはありだが、質の低い動画を上げ続けるのは注意。

また、フォロワーを外されることもアカウントにとってマイナス評価を受けている可能性が高い。

よってまずは新しいアカウントを作成したら動画がバズるようになるまでXに連携しない方が良い。

連携すると怪しんでフォロワーを外される可能性があるのと、単純に「バズるまで収益化できない」という状況を作ることによって自分を追い込ませることができる。自分を追い込むことは0→1突破するのに非常に有効である。

TikTok リサーチの仕方

●ジャンル選定

テキスト資料の TikTok 運用術に載せているジャンルは、切り抜きなど時短できるジャンルを主としているが、ここでは自分で動画を作る前提でバズりやすいジャンルを載せておく。

- ・雑学
- ・ホラー
- ・都市伝説
- ・アニメ
- ・時事ネタ
- ・恋愛
- ・美容
- ・心理学
- ・自己啓発→疲れがピークな人の特徴、コミュ力高い人の特徴など
- ・メンタル系

ジャンルを決めたら参考アカウントをリサーチする。

●参考アカウントを 3~5 個ピックアップする

探し方

雑学なら「#雑学」「#豆知識」、恋愛なら「#恋愛」「#恋愛心理学」などで調べる。

(#は付けなくても見つかる場合がある)

- ・探すときの注目ポイント

アカウントの質が同じか

→フォロワー数が少ないけど動画がバズっているなど

俗人性 (ファン) のあるアカウントは排除していき、素人の投稿でバズってる動画を探して真似するのが理想。

ただ、どうしても多フォロワーのアカウントしか見つからない場合は、**アカウントの中でバズってる動画とバズってない動画を比較して視聴者が好む傾向を分析する。**

取り扱っているジャンルが同じか

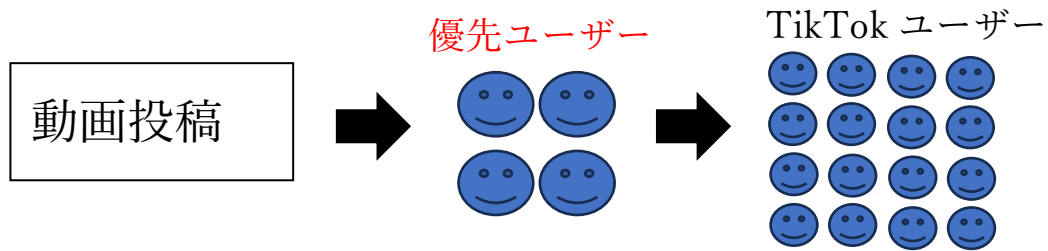
→女優紹介、同人・漫画紹介、エンタメ、オリジナルコンテンツなど

優先ユーザーが同じか

女優好きのおじさんにリーチしてるか、アニメ好きの若者にリーチしてるかなど

優先ユーザーとは？

TikTok は投稿するジャンルによりリーチされる**優先ユーザー**が決まる。



例えば、運用開始最初にアニメを投稿していたら**アニメ好きのユーザーに優先に表示されるようになる。**

これにより最初はハッシュタグを入れて OK だが、ハッシュタグを入れなくても動画がアニメ好き達に再生されるようになる。

また、途中から方針を変えて動物などのバズりやすい動画を上げても、リーチしているユーザーがアニメ好きなのでバズりにくくなる。

●参考アカウントをピックアップしたら

・共通項を見つける

① アイコン、プロフィール文、誘導先を記録し共通項を書き出す

② バズってる動画の共通項を見つける

✓最初の2秒

✓滞在させる工夫（コメント誘発など）

✓動画の作り（画像のチョイス、テロップの量や位置など）

→目線的にテロップは真ん中より少し上くらいがベスト。

✓投稿日（休日か平日か）

✓動画タイトル

✓ハッシュタグ

③ 共通項からバズる仮説を立てる

④ 同アカウントのバズってない動画も見て③で立てた仮説が正しいか軽く検証

●ネタの広い方

TikTok で拾えるネタがなくなったらインスタ、youtube shorts で似たようなリサーチをして探す。

インスタでは「～〇選」のようなネタが結構落ちてるので真似しやすい

Xでリサーチする場合は箇条書きのものが真似しやすい。

「デート前のチェックリスト」

「女性に告白してOKをもらうテクニック」

など、バズってるものを探して使う。

特にニッチなジャンルが調べやすく内容が深掘しやすい。

「【放課後】に使える告白を成功させる裏技」など

長い目で運用するコツ

●ペルソナ設定

ペルソナとは「人物像」のこと。ターゲット像をしっかりと決める。

例：

×→アニメ好きの男子（漠然としている）

○→90年代アニメが好きで35歳の男性（自分のことでもいい）

→更に細分化する。名前、見た目、仕事、趣味、休日の過ごし方、価値観、など

例

名前：野田隆

年齢：35歳

見た目：少し肥満気味

仕事：サラリーマン

趣味：特になし

休日の過ごし方：アニメを見る、SNSで動画を見る

価値観：最近のアニメの良さが分からない

性格：積極性なし。チャットで潜るタイプ

↓



90年代のアニメに思い出がある。懐かしい映像が流れるとつい見てしまう。

セーラームーン、スラムダンク、ドラゴンボール、るろうに剣心など。キャラにも思い出がある。コメントはあまりしないが、好きなキャラが出ているランキングや選択動画にはコメントする。

↓

投稿動画ネタ：

90年代アニメの切り抜き（今では放送できないシーンとか）

90年代アニメ憧れた男性キャラ TOP10

90年代アニメ女性キャラランキング

90年代のアニメで人気だったヒロインどっちが好き？（選択動画）

など、アニメで分ければ無限にネタがある

このようにペルソナ設定をすると自分が持つアカウントの方針が必然的に定まり、長い目で見てファンがついていく。

●差別化

「ジョジョの切り抜きと言ったらあのアカウント」

「AI ランキング動画と言ったらあのアカウント」

「××と言えばあのアカウント」

のようにターゲットがリピートしてくれるようなアカウントを目指す。

ペルソナ設定をしてアカウントの方針が定まってくると徐々に差別化が出来るが、いち早く差別化を図りたいなら「周りの真似をしながら周りがやってないこと」をやる。ここは少し難しいので、最初は真似をして徐々に特化型にしていくと差別化が図れる。（この辺の考え方はブログに似てる）

例えばランキング動画なら

「行ってみたい旅行先 TOP10」とか「国民的に人気アニメ TOP10」とか雑多にランキングを出して、反応がいいものに絞って特化していく。

「行ってみたい旅行先 TOP10」がある程度反応が良ければ「神奈川県で行ってみたいホテル TOP10」とか「山梨県の富士が見える旅館 TOP5」とかを上げていく。

この段階で特化できているので、そのまま色々な地域の旅行情報を流すアカウントのままでもいい。

もし神奈川県がやたら大きくヒットしたら「神奈川県で行ってみたいスパ TOP5」「神奈川県のおすすめグルメ TOP5」「神奈川県で●●」など神奈川県で特化する。

ハッシュタグは「#神奈川県」。ペルソナ設定もするので、この場合は神奈川県の情報を知りたい人をターゲットにする。

講座限定資料

以上が TikTok で意識する上で欠かせないこととなります (私も忘れるので繰り返し見えます)。

もちろん他にも要素はたくさんあって、まずは基本中の基本をここに押さえた感じです。アダルトアフィリエイトでここまでやるか?と思いますが、正直ここまでやらなくても動画は再生が取れます。ただ、収益アップを目指すならここまでやりましょう。

それでは最後に、リサーチ記録&再生記録ができる Excel データをお渡しします。TikTok を試すときは私も使ってるので是非ご利用ください→[TikTok データ管理表](#)
「ファイル」→「コピーを作成」でコピーするか、ダウンロードしてお使いください。